

令和6年度見せる復興に係るデジタルコンテンツ等制作業務委託に係る仕様書

1.業務目的

本業務は、県の「首里城復興基本計画 - 基本施策1 正殿等の早期復元と復元過程の公開(見せる復興)」等の方針を踏まえ、コンテンツ等の体験を通じて公園利用者が琉球の歴史・文化および首里城の復興状況について学び、理解を深める機会を創出することを目的とする。

2.履行期限 契約締結日の翌日から令和7年3月31日までとする。

履行場所 那覇市首里

3.業務内容

本業務では、添付「展示構成」に基づいて、首里城公園内指定施設におけるデジタルコンテンツ等を作成する。

以下の表に示す内容を基本とし、必要に応じて項目を追加できるものとする。

大分類・中分類	小分類	単位	数量
(1) 展示コンテンツ制作準備	① 展示コンテンツ制作に係る準備	式	1
(2) 展示コンテンツ制作	① 展示コンテンツ一式の制作	式	1
(3) 関係機関調整	① 行政関係機関等との調整	回	4
	② 議事録の作成	式	1
	③ 有識者への謝礼金支払い	式	1
(4) 打合せ協議	業務着手時、中間打ち合わせ(4回)、成果品納入時、その他業務遂行に必要とされるとき	式	1
(5) 報告書作成	支払い関係及び業務完了報告書	式	1

4.業務仕様

(1) 展示コンテンツ制作準備

① 展示コンテンツ制作に係る準備

- 展示コンテンツ一式を制作するために必要な資料について、沖縄県立博物館・美術館や(一財)沖縄美ら島財団等関係機関と調整を行い、状況確認及び使用許可等の手続きを行う。
- 有識者の監修体制の構築
 - 有識者の定義
 - 琉球王朝の歴史に関する、芸術・歴史分野に関する知識を持ち、学芸員として15年以上の実績を持つもの。またはその分野の学問で博士号を有する者から選定する。
 - 受託者の責務において首里城に相応しい品質のコンテンツ作成を担保することを目的とし、受託者は、有識者によるサポートを受ける。(契約期間内に合計50時間のサポートを想定。)

- 展示構成－②展示コンテンツ - 有識者主なサポート視点に観点が指定されている展示コンテンツをサポートの対象とする。
- 費用は、受託者による再委託等による支払を想定。
- 有識者及び国・県・管理運営者等の関係者意見を取り入れながら、展示構成－②展示コンテンツ - 展示内容の詳細を決定する。
- コンテンツ制作に係る素材撮影が必要な展示テーマについては、収録予定現場の下見や関係機関等との事前打合せを踏まえ、撮影スケジュール及び提出成果物を決定する。
- 取材先への申請手続きや調整等については、受託者が行う。

(2) 展示コンテンツ制作

① 展示コンテンツ一式の制作

- 添付「展示構成」に基づいて、有識者及び国・県・管理運営者等の関係者意見を取り入れながら、展示コンテンツ一式を制作する。
- 全ての展示コンテンツにおいて、展示コンテンツの内容に係る情報共有(レイアウト、説明文、動画の動きや効果等)を目的とした資料を作成のうえ、発注者による確認及び承諾を得る。
- 全ての展示コンテンツにおいて、展示構成 - ②展示コンテンツ - 利用開始時期に記載する指定の日までに、受託者により展示機器を用いて鑑賞可能な状態にする。
- 展示コンテンツ制作にあたっては以下の留意点を取り入れるものとする。
 - 1) 説明文作成
 - 多言語化に係る翻訳作業はネイティブチェックを入れる
 - 2) 撮影
 - 撮影に使用するカメラは原則 4K 仕様とし、撮影日時、場所、方法などを発注者と調整後、撮影を実施する。
 - 撮影した内容について撮影一覧表を作成し、素材映像に撮影日毎撮影内容のキャプションを付けて整理を実施する。
 - 3) 動画・静止画に係る編集について
 - 映像編集にあたっては、必要に応じテロップや動画等を制作するなど、分かりやすい内容になるよう工夫する。
 - 必要に応じてナレーション、効果音、音楽などを整音し、音データを制作する。
 - 4) その他
 - その他上述に明示されていないことでも業務遂行に必要とされる業務は、事前に発注者と協議の上実施する。

(3) 関係機関調整

① 行政関係機関等との調整（4回）

1) 国・県・管理運営者等の関係者へ、展示コンテンツの内容に係る情報共有を実施する

② 議事録の作成

(4) 打ち合わせ協議

本業務を行うに当たって、以下の段階で調査職員と打合せ・協議を行う。

① 業務着手時

② 中間打ち合わせ(4回)

③ 成果品納入時(業務完了時)

④ その他業務遂行に必要とされるとき

(5) 報告書作成

業務完了にあたっては、業務完了報告書及び経費の支払い及び関係証拠書類を作成する。

5. 成果品

受託者が提出すべき成果物等は表のとおりとする。

表 成果物等一覧

① 撮影素材	1式
② デジタルパネルおよび動画の完成作品	1式
③ パネルボード	1式
④ パネルボードデータ(印刷データ・デジタル化データ)	1式
⑤ ナレーション完成原稿	1式
⑥ 打ち合わせ協議 議事録、有識者監修結果	1式
⑦ 業務報告書	1式
⑧ 支払確認書類	1式
⑨ SSD(上記の電子データを入れて提出。ただし③を除く。)	1式
⑩ その他発注者が業務に関するものとして指示したもの	1式

6. 著作権・特許等

- (1) 受託者は、本業務で作成された成果物に関し、すべての著作権（著作権法第27条及び28条に定める権利を含む財産権）を、発注者に無償で譲渡するものとする。
- (2) 受託者は、発注者の同意を得なければ、著作権法第18条から第20条までに規定されている権利を行使することができない。
- (3) 成果物で使用する文章、写真、図版などは全て発注者での利用若しくは第三者への提供が可能なもののみを使用するものとする。ただし、公共機関から貸与したものは除く。
- (4) 成果物の使用期限は設けないものとする。
- (5) 成果物に係る著作権、特許権その他の知的財産権に関する一切の紛争については、訴訟費用を含めすべて受託者において責任を負うものとする。

7. 再委託について

上記業務の一部については再委託を可能とするが、業務を実施する 10 日前までに再委託承認申請書を発注者に提出するとともに、事前に書面による発注者の承認を受けるものとする。ただし、以下の簡易かつ容易な業務を第三者に委託し、又は請け負わせるときはこの限りでない。

- 資料の収集・整理
- 複写・印刷・製本
- 原稿・データの入力及び集計

また、以下に示す契約の主たる部分については、再委託をしてはならない。

- 契約金額の 50% を超える業務
- 企画判断、管理運営、指導監督、確認検査等の統括的かつ根幹的な業務

9. その他

- (1) 事業完了時において実際に要しなかった経費がある場合は、相当の委託料を減額する。
- (2) 本特記仕様書に記載されていない事項及び仕様書等に疑義が生じた場合は、その都度協議し、発注者の指示を受けなければならない。

■展示構成

① 前提事項

①-1 展示実施を予定している施設の役割

本案件に関する各施設の展示目的は、「首里城復興全体展示・公開計画」を踏襲する。
ただし、本案件に限り、以下の展示目的を追加して加える。

展示施設	展示目的(追加)
首里杜館ガイダンスホール	首里城公園見学の始点となる体験学習の場として、首里の歴史を伝えるとともに、有料区域入場に向けた期待感を醸成する情報を提供する。
復興展示室	正殿の工事情報を詳細に伝えるとともに、主に国と県が実施している首里城城郭内に関する活動の情報を提供する。
首里杜館レビューホール	首里城公園見学の終点となる学習体験の場。 体験学習を通じて首里の歴史を伝えることで、来園者の知識深耕に寄与する。

■展示構成_R6年度

② 展示コンテンツ

展示コンテンツ	展示施設	展示テーマ	展示内容	図面位置	展示機器(※1)	展示手法	仕様	数量 (1言語)	多言語	多言語 対応方法	数量	有識者 主なサポート 視点	利用 開始時期	補足
1 デジタルコンテンツ	首里杜館 ガイダンスホール	1 琉球王国に関する発信	【コンテンツの制作】 ・展示目的 ・琉球王国に関する情報展示 ・コンテンツ概要 ・琉球王朝の文化・制作物のデザイン等からテーマを設定し、それぞれのテーマの深堀する。 ・アニメーションを利用して親しみやすいコンテンツとする。	モニター① モニター② (別紙1)	55型4Kモニター	動画	・16:9(4K) ・縦長 ・45秒 ・ナレーション有り(字幕なし) ・BGMあり ・効果音あり。	5	日	-	5	歴史	2025/2末	・テーマについては有識者の意見を取り入れて決定すること。 ・YouTube等への配信も想定しているため、音声(BGM・効果音)を付ける。 ・ガイダンスホール内では音声をオフにして再生するため、音声に依存したコンテンツにならないよう留意する。 ・前年度制作した「琉球王国に関する発信」のアニメーション動画の著しく異なるならないよう留意する。 ・関連作業 - Brightsignを利用したサイネージプレイヤー(HD1024W)へのコンテンツ登録作業を含む。 - サイネージプレイヤー上での表示タイミングは別途協議。
		2 琉球王国に関する発信	【コンテンツの作成】【翻訳作業】 ・当年度及び前年度作成した、「琉球王国に関する発信」のアニメーション動画について、翻訳版のコンテンツ(PDF)を作成する。(全8テーマ) ・当年度及び前年度作成した、「琉球王国に関する発信」のアニメーション動画を元に、コマ割を実施したコンテンツとする。	-	-	PDF	・PDF ・情報提供:有(前年度作成したアニメーションの動画) ・補足 別紙4(琉球王国に関する発信)	8 (3+5)	英・中(簡)・中(繁)・韓	言語毎にPDFを作成する(別紙4)	32	-	2025/2末	・県が提供する素材はmp4形式の動画。 ・QRコードで読み込みを行い、スマホ等での閲覧を想定する為、QRコード制作作業も含める。(QRコード生成に必要なURLは県から提供) ・コマ割については案を提案して頂き、内容を協議の上決定する。 ・1PDF内に全8テーマの内容を含める
		3 首里城正殿復興状況発信	【コンテンツの作成】【動画制作費】 下記の情報などをまとめた日本語版の素材を県が提供し、受注者は動画化及び翻訳版を作成する。 ・最新の工程(スケジュール表) ・最新の工事状況(工事現場の画像等) ・最新のニュース等の情報(特別公開、イベント等)	モニター⑥ モニター⑦ モニター⑧ (別紙1)	55型4Kモニター	動画	・16:9(4K) ・縦長 ・30秒 ・ナレーションなし ・BGMなし。 ・効果音なし。 ・写真、説明文(日:400字程度)、イラスト ・情報提供:有(県が作成する素材(日本語版))	1	日・英・中(簡)・中(繁)・韓	言語毎に動画を作成する	5	-	2025/1末	・県から提供する日本語素材の提供形式はpptx。 ・サイネージプレイヤーには画像形式にて登録すること。 ・関連作業 - Brightsignを利用したサイネージプレイヤー(HD1024W)へのコンテンツ登録作業(コンテンツ差し替え作業)を含む。 - コンテンツの登録は以下を想定 モニター⑥:日本語 モニター⑦:英語と韓国語を交互に再生 モニター⑧:中国語(簡)・中国語(繁)を交互に再生
		【翻訳作業】						1	英・中(簡)・中(繁)・韓		4			
復興展示室		4 復興に関する技術の発信	【コンテンツの作成】 ・展示目的 ・寄附金を活用した制作物で使用される技術を紹介し、復興に必要な技術についての理解を深めるとともに、寄附者への思いを形にする。 ・コンテンツ概要 ・寄附金を活用し制作する物のうち、当年度に予定している制作物で利用される技術を視覚的にわかりやすく伝える。	モニター② (別紙2)	Sharp PN-L751H	動画	・16:9(4K) ・縦長 ・30秒 ・ナレーションあり(字幕あり) ・BGMあり。 ・効果音あり。 ・情報提供:有(技術検討委員会資料)	3	日	-	3	復興技術	2025/1末	・YouTube等への配信も想定しているため、音声(BGM・効果音)を付ける。 ・復興展示室内では音声をオフにして再生するため、音声に依存したコンテンツにならないよう留意する。 ・令和6年度のテーマは以下の通りとし、それぞれ1本ずつ作成する。 - 2F 御差床 龍柱 - 龍頭棟飾 - 礎盤 ・1-6で作成する、翻訳したコンテンツに遷移するQRコードの掲載作業も含める。 ・関連作業 - 展示機器への動画登録(前年度登録した動画についての扱いは別途協議)
			【翻訳作業】					3	英・中(簡)・中(繁)・韓		12			
		5 復興に関する技術の発信	【既存コンテンツの編集】 ・現在上映している「復興に関する技術の発信」に関する動画内に、翻訳したコンテンツに遷移するQRコードを埋め込む為の動画編集作業を行う。	モニター② (別紙2)	Sharp PN-L751H	動画	・情報提供:有(県が作成する素材(日本語版)) ・補足 別紙5(復興に関する技術の発信)	2	-	-	2	-	2025/2末	・県が提供する素材はmp4形式の動画。 ・編集対象の「復興に関する技術の発信」に関する動画は以下の通り。 - 赤瓦 - 木彫刻 ・QRコードの掲載場所、サイズについては県と協議の上、決定する。
			【翻訳作業】					2	中(繁)・韓		4			
		6 復興に関する技術の発信	【コンテンツの作成】【翻訳作業】 ・当年度及び前年度作成した、「復興に関する技術の発信」の動画について、翻訳版のコンテンツ(PDF)を作成する(全5テーマ)	-	-	PDF	・縦長 ・説明文(日:300字程度) ・情報提供:有(ナレーションの原稿(日本語版)) ・補足 別紙5(復興に関する技術の発信)	5	英・中(簡)・中(繁)・韓	-	20	-	2025/2末	・県が提供する素材はmp4形式の動画。 ・翻訳対象の「復興に関する技術の発信」に関する動画は以下の通り。 - 2F 御差床 龍柱(当年度作成予定) - 龍頭棟飾(当年度作成予定) - 礎盤(当年度作成予定) - 赤瓦(前年度作成) - 木彫刻(前年度作成) ・QRコードで読み込みを行い、スマホ等での閲覧を想定する為、QRコード制作作業も含める。(QRコード生成に必要なURLは県から提供) ・1PDF内に全1テーマとする。(テーマ・言語ごとにPDFを制作)
		7 正殿復興状況の深堀	【既存コンテンツの編集】 ・現在上映している「正殿復興状況の深堀」に関する動画内に、翻訳したコンテンツに遷移するQRコードを埋め込む為の動画編集作業を行う。	モニター① (別紙2)	-	動画	・情報提供:有(県が作成する素材(日本語版)) ・補足 別紙5(正殿復興状況の深堀)	2	-	-	2	-	2025/1末	・県が提供する素材はmp4形式の動画。 ・編集対象の「正殿復興状況の深堀」に関する動画は以下の通り。 - 扁額 - 技術のダイジェスト ・QRコードの掲載場所、サイズについては県と協議の上、決定する。
			【翻訳作業】					2	中(繁)・韓		4			
		8 正殿復興状況の深堀	【コンテンツの作成】【翻訳作業】 ・前年度作成した、「正殿復興状況の深堀」の動画について、翻訳版のコンテンツ(PDF)を作成する(全2テーマ)	-	-	PDF	・縦長 ・説明文(日:600字程度) ・情報提供:有(ナレーションの原稿(日・英・中(簡))) ・補足 別紙5(正殿復興状況の深堀)	2	英・中(簡)・中(繁)・韓	-	8	-	2024/12末	・県が提供する素材はナレーションの原稿。 ・翻訳対象の「正殿復興状況の深堀」に関するテーマは以下の通り。 - 扁額 - 技術のダイジェスト ・翻訳対象の言語は、中(繁)・韓の2言語で、英・中(簡)については県が提供。 ・PDFは英・中(簡)・中(繁)・韓の4言語をテーマ毎に作成する。 ・関連作業 - QRコードで読み込みを行い、スマホ等での閲覧を想定する為、QRコード制作作業も含める。(QRコード生成に必要なURLは県から提供)

展示コンテンツ	展示施設	展示テーマ	展示内容	図面位置	展示機器(※1)	展示手法	仕様	数量 (1言語)	多言語	多言語 対応方法	数量	有識者 主なサポート 視点	利用 開始時期	補足	
		9	普及啓発用動画制作	【コンテンツ作成】 ・コンテンツ概要 ・首里杜館ガイダンスホール地下1Fの定時ショーを、30秒程度に短縮した動画を作成する。	-	-	動画	・16:9 ・30秒 ・BGMあり ・効果音あり ・横長 ・情報提供：有(県が作成する素材(日本語版))	1	-	-	1	歴史	2025/2末	・県が提供する素材はmp4形式の動画。 ・YouTube等への配信も想定しているため、音声(BGM・効果音)を付ける。 ・音声をオフにして再生するケースも想定する為、音声に依存したコンテンツにならないよう留意する。 ・圧縮版についてはHPに埋め込んで再生させることを想定しているため、5MB～10MB程の容量とする。
		10	普及啓発用動画制作	【コンテンツ作成】 ・展示目的 ・見せる復興(※)の普及啓発 ・コンテンツ概要 ・正殿完成後には見ることでできない復元工事の過程を、「今しか見られない光景」「今だから見てほしい光景」を「見せる復興」として公開しており、「見せる復興」の興味・関心を促す動画を作成する。	-	-	動画	・16:9 ・30秒 ・BGMあり ・効果音あり ・横長	1	-	-	1	歴史	2025/2末	・動画内容については有識者と調整の上、決定する。 ・YouTube等への配信も想定しているため、音声(BGM・効果音)を付ける。 ・音声をオフにして再生するケースも想定する為、音声に依存したコンテンツにならないよう留意する。 ・圧縮版についてはHPに埋め込んで再生させることを想定しているため、5MB～10MB程の容量とする。 ・コンテンツ制作に係る素材撮影については、収録予定現場の下見や関係機関等との事前打合せを踏まえ、撮影スケジュール及び提出成果物を決定する。
2	パネルボード	11	琉球王国に関する発信	【コンテンツ作成】 ・1-2で作成するコンテンツの導線となるQRコードを掲載したパネルを作成する	パネル④ パネル⑤ (別紙1)	ビジュアル 吊り下げ	A0 パネルボード (別紙5)	・16:9(4K) ・縦長 ・説明文、イラスト、QRコード ・別紙4(琉球王国に関する発信)	2	-	-	2	-	2025/2末	・掲載するQRコードは「英・中(簡)・中(繁)・韓」の4言語を想定。
		12	復興に関する技術の発信	【コンテンツ作成】 ・展示目的 ・首里城復興に係る工事情報と国・県の取り組みを詳細に伝える ・コンテンツ概要 ・技術検討・工事等にあわせた技術に関する情報展示を行う。 ・R6年度は2F御差床 龍柱・龍頭棟飾・礎盤の3種類	パネル⑥ パネル⑧ パネル⑨ (別紙2)	展示台	A0 パネルボード	・A0版 ・縦長 ・写真、説明文、イラスト ・情報提供あり：有(日本語の説明文については、県から原案を提供) ・補足 別紙5(パネルボードと多言語対応のイメージ)	3	英・中(簡)・中(繁)・韓	1枚のパネル内に日・英・中(簡)の3言語を記載	12	復興技術	2025/1末	・原寸場見学エリアで説明しきれない、首里城復興に係る詳細な工事情報を伝える。 ・毎年展示物の入れ替えを実施するため、入れ替えが容易なパネルボードを利用する。 ・県から提供する日本語の説明文について、有識者の確認を行うこと。 ・「(繁)・韓」については、QRコードを添付することで翻訳を認むことを想定しているため、デジタルデータとして提供すること。 ・パネル内には、QRの掲載も考慮すること。 ・展示構成については別途協議。
			【PDF制作】						3			3			
	13	復興に関する技術の発信	【コンテンツ作成】 ・本業務より前に作成した、「復興に関する技術の発信」のパネルに掲載している説明分について、翻訳版のコンテンツを作成する。 ・翻訳対象言語は中(繁)・韓の2言語	-	PDF	-	・縦長 ・写真、説明文、イラスト ・情報提供あり：有(日本語の説明文については、県から原案を提供) ・補足 別紙5(パネルボードと多言語対応のイメージ)	7	中(繁)・韓	1枚のパネル内に日・中(繁)・韓の3言語を記載	14		2025/2末	・本業務より前に作成した、「復興に関する技術の発信」のパネルは、以下が対象 パネル②：扁額 パネル③：瓦 パネル⑦：龍頭棟飾(阿形・咩形) パネル⑩：赤瓦 パネル⑪：木彫刻 パネル⑫：石材 パネル⑬：漆	
			【PDF制作】						7			7			
	14	復興に関する技術の発信	【コンテンツ作成】 ・1-2で作成するコンテンツの導線となるQRコードを掲載したシールを作成する ・シールは、すでに設置しているパネルボードの適切な位置に貼ることを想定	パネル② パネル③ パネル⑦ パネル⑩ パネル⑪ パネル⑫ パネル⑬ (別紙2)	展示台	シール	・別紙5(パネルボードと多言語対応のイメージ)	8	-	-	-	8		2025/2末	・「復興に関する技術の発信」のパネルは、以下が対象 パネル②：扁額 パネル③：瓦 パネル⑦(※)：龍頭棟飾(阿形・咩形) パネル⑩：赤瓦 パネル⑪：木彫刻 パネル⑫：石材 パネル⑬：漆 ・QRコード生成に必要なURLは県から提供。 ※龍頭棟飾は阿形・咩形ごとにパネルがあるため、シールは×2
15	復興に関する技術の発信	【補助機能追加】 ・2-17にて実物展示を想定した展示台を作成する。	試作品① 試作品② 試作品④ 試作品⑥ (別紙2)	展示台	展示台	・別紙5(展示物の寸法)	4	-	-	-	4	-	2025/1末	・展示物は以下が対象 - 龍頭棟飾(唐破風石青原型) - 2F御差床 龍柱 原型(阿形) - 2F御差床 龍柱 原型(咩形) - 礎盤 ・展示デザイン、レイアウト検討、配置含む。 ・毎年展示物の入れ替えを実施するため、入れ替えが容易な展示台を利用する。 ・展示台は展示物のサイズを考慮し、耐震・横揺れ等の安全面を配慮すること。 ・展示構成については別途協議。	
3	壁面等活用	16	復興に関わる「技術」の展示	【コンテンツ説明】 ・展示目的 ・来園者に復元工事等の「今しか見られない」光景を印象づけるとともに、復元工事等の今を感じてもらう。 ・コンテンツ概要 ・復元工事や寄附金に関する制作物を作成する「技術」を象徴する写真等を用いた壁面展示を行う。	壁面展示 (別紙2)	壁面パネルの装飾品	壁面展示	・別紙5(壁面展示)	10	-	-	-	-	2025/1末	・コンテンツ制作に係る素材撮影については、収録予定現場の下見や関係機関等との事前打合せを踏まえ、撮影スケジュール及び提出成果物を決定する。 ・壁面パネルの概要を説明した装飾品について多言語対応するため、偏執作業も含める。
		17	復興に関わる「人」の展示	【コンテンツ説明】 ・展示目的 ・来園者に復元工事等の「今しか見られない」光景を印象づけるとともに、復元工事等の今を感じてもらう。 ・コンテンツ概要 ・復元工事や寄附金に関する制作物を作成する「人」を象徴する写真等を用いた壁面展示を行う。	1-2 (別紙3)	壁面パネルの装飾品	壁面展示	・別紙6(壁面展示)	10	-	-	-	-	2025/1末	・コンテンツ制作に係る素材撮影については、収録予定現場の下見や関係機関等との事前打合せを踏まえ、撮影スケジュール及び提出成果物を決定する。 ・壁面パネルの概要を説明した装飾品について多言語対応するため、偏執作業も含める。
4	効果検証	-	当年度導入・更新したコンテンツの効果検証の計画・検証実施・検証結果報告及び、将来に向けた改善提案。	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2025/2末		

(※1)特記なき展示機器は、別項目または別工事で整備する。

③ その他

- ・新規に製作する造作物や展示物のトーンやマナーは、現状の施設に既設のものに馴染むように配慮する。
- ・記載なき事項は、別途協議するものとする。